

第3回富田林市建設工事総合評価審査委員会議事録

- 1 開催日時 令和5年1月31日（火）午前10時00分～午前12時00分
- 2 開催場所 市役所3階 庁議室
- 3 出席者 委員7名、担当課（総務課新庁舎建設PT）2名、事務局（契約検査課）5名、
支援業務受注者（明豊ファシリティワークス㈱ 以下、MFW） 3名
- 4 開催形態 公開（傍聴人 人）・**非公開**・一部公開（傍聴人 人）

【非公開・一部公開の理由】

会議の公開に関する指針3.（2）、（3）該当

5 次第

1. 開 会
2. 議事

- (1) 第2回アンケート結果の概要等について
- (2) 新庁舎建設工事 施工者選定方針（案）について
- (3) 新庁舎建設工事 入札説明書（案）等について

3. その他

- 6 審議の経過及び委員会等の結果等 全文筆記・**要点筆記**・議事要旨
議事録公開時期：事業者選定後

2. 議事

- (1) 第2回アンケート結果の概要等について
・アンケート結果の概要について事務局より説明

【委員】 第2回アンケートの回答内容は入札の方針に反映させるものと理解してよいか。

【事務局】 ご理解のとおり、広く多くの参加者を募るため、対応可能な範囲で反映していく。

【委員】 配置技術者については、電気・機械は専任での配置が可能との回答が無かったようだが、今回の条件では併任でも可能となっているのか。

【事務局】 大規模な事業であるため基本的に専任と考えているが、電気、機械の施工主任担当者は、専任を要しない期間もあることから柔軟に対応したい。入札説明書には専任としつつも、契約締結後に発注者と協議ができるものと記載している。

(2) 新庁舎建設工事 施工者選定方針（案）について

・施工者選定方針（案）の内容について事務局より説明

【委員】 参加資格要件について、JVの代表だけでなく構成員についてもP点を1,400点以上の要件を満たすこととしている理由は何か。

【事務局】 本市の要綱において、請負金額が10億円以上の建築一式工事についてはAランクとしてP点が1,400点以上と規定されている。本件の場合、JVの場合の構成員の出資額は最低でも3割となり、今回の発注金額が80億円となると、構成員であっても10億円を超えることとなるので、このように規定している。

【委員】 JVの出資比率の最低ラインはどのように決めたか。

【事務局】 国交省が発行している「共同企業体の在り方」にて出資比率の最小限度基準が明記されており、これに準拠している。

【委員】 価格点の算出方法は「エ」で問題ないか。

【全委員】 異議なし。

【委員】 プレゼンテーション・ヒアリングについて、時間をもう少し長くしても良いのではないか。委員が7名であるため、特にヒアリングを長くとした方がよい。

【事務局】 了解した。プレゼンを20分、ヒアリングを30分とし、1者あたり1時間で実施する。

(3) 新庁舎建設工事 入札説明書（案）等について

・入札説明書（案）の内容について事務局より説明

【委員】 質疑の期間や見積の期間は、アンケート結果を勘案したスケジュールとなっているか。

【MFW】 公告と契約の日数を考えると、事業者の意向に沿えないところもある。質疑は参加資格に関するのと技術提案に関するとの2回に分けており、技術提案に関する質疑作成期間は公告から4週間確保している。また質疑回答から技術提案書提出までの期間は5週間、技術提案書提出からプレゼンテーションまでの期間は2週間としている。

【委員】 プレゼンテーションまでの2週間をもう少し確保するためにも、公告日自体を前倒

しできないか。

【担当課】 現在の設計スケジュールを踏まえると現状の公告日が最短であるとする。

【委員】 契約に関してプレゼンテーションおよびヒアリングでの発言は提案内容と同等のことだが問題ないか。質問に対して担当で答えられない場合はどうするか。

【事務局】 回答できないものは、そのように評価を行えばよいとする。回答には責任を持たせるべきと考えている。

【委員】 地域貢献の貢献金額の計算方法について、入札説明書と評価基準で内容が異なるのではないか。

【事務局】 記載が異なっているので、修正する。評価基準（案）が正である。

【委員】 評価基準について、仮設計書の項目は施工計画として当初の案のほうが明快であるとする。求める内容を明確に規定した方が評価しやすい。事務局の考えを確認したい。

【担当課】 点数差が出やすいように、できる限り関連する項目を集約したうえで項目数を減らして検討した。

【委員】 業務全般に関する内容は、各社そこまで大きな差はないと考えられるので、施工計画に重点を置いた方がよい。項目のまとめ方、分け方を事務局にて再度精査いただき、配点も含めて検討いただきたい。また、応募事業者、審査員のお互いが分かりやすい提案書、評価になるよう整理していただきたい。

【事務局】 了解した。

【委員】 様式について、技術提案の用紙の外枠をもう少し広げた方がよい。

【委員】 技術提案に過去の実績を記載する場合があります、有名な建物であれば事業者が判明してしまうがどのように考えるか。

【事務局】 具体名は出さないように提案いただく。合わせて必要に応じて事務局にてマスクング等させていただきます。

3. その他